

主催者挨拶

一般財団法人全日本ろうあ連盟

理事長 石野 富志三郎

第31回全国ろうあ者相談員研修会・第22回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラムにご参加の皆様、お忙しい中お集まりいただき、厚く御礼申し上げます。

2016年4月施行の障害者差別解消法および改正障害者雇用促進法が間もなく2年を迎えようとし、ろうあ者相談員や手話協力員への相談も増え、聴覚障害者のニーズの幅も広がっていることから、今回初めて「併催」の形でのスタートとなります。

この法律に関連して、全日本ろうあ連盟は4冊の冊子を発刊しました。これらの冊子にはこれらの法律がより実効的なものとなってほしいという願いが込められています。その背景には、現代社会が音声中心となっており、聴覚障害者にとって非常に生活しづらい状況が依然として続いていることにあります。こうした音声中心の社会に起因する情報アクセスのしづらさ、コミュニケーションの取りづらさが、生活面や就労面において、「相談支援⇔雇用定着」の連続性を妨げる大きな壁となって立ちはだかっているのです。こうした状況を打開すべく連盟が積極的に取り組んでいる手話言語法制定推進運動で機運が高まっている今こそ、手話協力員やろうあ者相談員が連携を図り、聴覚障害者の相談・生活支援、聴覚障害者の雇用促進・職場定着をより一層推し進めていく必要があります。

いよいよ2年後には2020年東京オリンピック・パラリンピックを迎えますが、我々のこうした取り組みがそれまでに結実して聴覚障害者の情報アクセシビリティが改善され、障害特性に応じた合理的配慮や基礎的環境の整備に繋がることを期待しています。

最後になりますが、本研修会兼フォーラムの開催にご後援を賜りました厚生労働省、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会、全国聾学校長会ならびにご協力をいただきました公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構東京都聴覚障害者連盟の皆様、ご参加の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念して、私からのあいさつといたします。

